

腎・高血圧内科学

責任者：内科学講座腎・高血圧内科分野 旭 浩一 教授

[腎・高血圧疾患]

学習方針（実習概要等）：

指導医とともに日々の病棟回診やカンファランス等の診療の現場に診療チームの一員として参加することにより、医師として患者や他職種に向き合う態度を養う。また、腎臓病学系統講義で修得した知識を基盤に基礎医学、臨床医学の総合的な知識を有機的に総動員し、実臨床における腎・高血圧疾患の診断から治療に至る思考過程と診断・治療の手技を学ぶ。さらに担当症例を全人的に把握して提示し、議論を行う技法を学ぶ。

教育成果（アウトカム）：

円滑な臨床研修の開始に向けて医師としてふさわしい態度を身につけ、実臨床に根ざした有機的な知識を修得するとともに、臨床的な思考能力、問題解決能力及びプレゼンテーション能力を獲得する。

（ディプロマポリシー：1,2,4,5,6）

到達目標（SBOs）：

- *1. 患者に礼節を持って接し、病態や心理を理解しながら問診や身体所見の診察をすることができる。
- *2. 診療録についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record <POMR>)形式で診療録を作成しプレゼンテーションすることができる。
- *3. 高血圧性疾患の鑑別のための検査計画を立案し、それぞれの治療方針を説明することができる。
- *4. 主要な一次性・二次性腎疾患の病歴と症候から診断に必要な検査と治療方針を立案することができる。
- *5. 腎生検の目的、適応、合併症、禁忌を理解し、検査手順の説明することができる。
- *6. 症例に即して糸球体、尿細管間質、腎血管の病理組織像の主要な所見を説明することができる。
- *7. 体液量、水・電解質、酸塩基平衡の異常の病態を説明し、それぞれの治療を説明することができる。
- *8. 腎不全の病態を評価し、保存期管理から腎代替療法までの治療方針を説明することができる。

特に留意すべき注意事項：

臨床実習は座学の場合ではない。実習時間は極めて限られており、学生には診療チームの一員として担当患者の回診やカンファレンスに積極的な姿勢で臨み、ディスカッションに参加することを求める。その中で生じた疑問点について随時指導医に質問するなどして疑問を解消するとともに、自学自習のテーマとして活用すること。

事前学修内容および事前学修時間：

シラバスに記載されている各実習内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行い、医療面接・診察など基本的臨床技能実習で修得した手技について再確認をすること。また、実習前にeポートフォリオ（WebClass）「日々の振り返り 今日の目標」にて、事前学修内容を踏まえた自己到達目標を設定し実習へ臨むこと。各実習に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全実習に対して該当するものとする。なお、適宜eポートフォリオ（WebClass）を通し個人に対する実習のフィードバックを行う。実習では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

系統講義の基本的内容を十分理解していることが実習へ参加する前提であり、病棟実習に先立ちプレテストを行う。あらかじめ教科書や腎臓病学系統講義の資料などで知識の整理をしておくこと。

第4・5学年臨床実習スケジュール [腎・高血圧内科学]

指導医師名：①旭浩一教授 ②田中文隆准教授 ③吉川和寛講師 ④松浦佑樹助教 ⑤野田晴也助教（任期付） ⑥佐藤直幸医師 ⑦菊池調医師

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月 [場 所] [指導医]	新入院症例カンファランス [カンファランス・ルーム] ①③ オリエンテーション [教授室] ①	プレテスト、課題学習 [医局] ①	症例診察実習、病理セミナー [病棟, SGL] ④	腎一般セミナー [SGL] ②
火 [場 所] [指導医]	新入院症例カンファランス [カンファランス・ルーム] ①③ 病棟回診[病棟] ④⑤⑥⑦	透析セミナー [SGL または透析室] プレテスト再試 [医局] ③	チャートラウンド、教授総回診 [病棟] ①②③④⑤⑥⑦	腎病理カンファランス、退院報告 [カンファランス・ルーム] ①②③④⑤⑥⑦
水 [場 所] [指導医]	新入院症例カンファランス [カンファランス・ルーム] ①③ 病棟回診 [病棟④] ④⑤⑥⑦	腎生検[病棟] ③④⑤⑥⑦	症例サマリー作成[SGL]	症例サマリー作成[SGL] プレテスト再試[医局]
木 [場 所] [指導医]	新入院症例カンファランス [カンファランス・ルーム] ① 病棟回診 [病棟] ④⑤⑥⑦	腎生検[病棟] ③④⑤⑥⑦ 水電解質演習[SGL] ⑤	高血圧演習[SGL] ⑥	症例サマリー作成[SGL] プレテスト再試[医局]
金 [場 所] [指導医]	新入院症例カンファランス [カンファランス・ルーム] ②③ 病棟回診 [病棟] ④⑤⑥⑦	症例サマリー作成[SGL]	担当症例呈示及びグループディス カッション,口頭試問 [教授室] ①	担当症例呈示及びグループディスカ ッション,口頭試問 [教授室] ①

診療スケジュールにより指導医, 場所, 時間の変更がありうるので当日朝のカンファランスで予定を確認すること。

教科書・参考書等：

- ・教科書：内科学（第11版）矢崎義雄編 朝倉書店 2017
- ・参考書：腎臓・水電解質コンサルタント（第2版）深川雅史監修 2017

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について100点満点で評価する。

1. 知識：15点
2. 態度：25点
3. 技能試験：30点
4. ポートフォリオ：20点
5. 指導医評価：10点